※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　国際文化科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
学国際文化	（学）フランス語文化Ⅱ	2	3	Mon Premier Vol Tokyo-Paris

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

2 年生で学んだ文法とコミュニケーションの表現を活用しながら、9 課以降に進みます。今までの学習の定着度が問題です。忘れたこと、理解不足だと思うことは、すぐに前の段階（最初から 8 課まで）に戻って、自分で復習しましょう。語学は、普段からの丁寧な勉強(書きながらの理解と音読)が必須です。特にフランス語では、ローマ字は英語と同じでも、スペル（綴り）にアクセント記号をつける場合が多く、これをしっかり書けるように努力しましょう。堅苦しく考えないで、メロディーをつけて歌いながら音読したり、書いたりしたら良いでしょう。そして、間違っても臆することなく自分から進んで話したり、書いたりしましょう。実践しないと身につきません。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第 3 学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	・事物に関する紹介や対話などを聞いて，情報や考えなどの概要を捉えることができる。 ・事物に関する紹介や対話などを聞いて，情報や考えなどの要点や詳細を捉えることができる。 ・リエゾン,エリズィオン,アンシェヌマン等のフランス語の音声的な特徴とイントネーションが自然に耳に入り、聞くことができる。	・対話や説明等を読んで,情報や考えなどの概要を捉えることができる。 ・対話や説明等を読んで,情報や考えなどの要点や詳細をとらえることができる。 ・事実と意見などを区別して読むことができる。 ・内容の要点を示す語句や文,つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，話し合ったり意見の交換をしたりすることができる。 ・リエゾン,エリズィオン,アンシェヌマン等のフランス語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	・簡単な語句や文を用いて自分のことを紹介できる ・身近なトピックや出来事について既習の語彙・表現を使って自分の意見を述べることができる。 ・リエゾン,エリズィオン,アンシェヌマン等のフランス語の音声的な特徴，話す速度，声の大きさなどに注意しながら話すことができる。	・聞いたり読んだりしたこと，学んだことや経験したことに基づき，情報や考えなどについて，簡潔に書くことができる。 ・内容の要点を示す語句や文，つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。 ・事実と意見などを区別して書くことができる。

※令和４年度以降入学生用

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の４技能について、実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて活用できる知識・技能を身に着けている。 外国語の学習を通して、言語の働きや役割などを理解している。	コミュニケーションを行う場所・目的・状況などに応じて日常的・社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝えあったりしている。	聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら主体的に自分の意見や考えなどを話したり書いたりしてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４ 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1学期	9 課 10 課 11 課	聞くこと	a: フランス語の音声やイントネーションの特徴を理解している。 b: 身近な話題（日常生活）についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取っている。 c: 身近な話題（日常生活）についての会話を聞いて、必要な情報を聞き取ろうとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: フランス文の構造を理解しながら読むことができる。 b: 身近な話題（日常生活、友人の紹介や自分の一日）に関する仏語で書かれた文章を読み、要点を捉えることができる。 c: 身近な話題（日常生活、友人の紹介や自分の一日）に関する仏語で書かれた文章を読み、要点を捉えようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 日常的な話題についての表現や語句の特徴、学習した文法構造を理解している。 b: 日常的な話題について、学習した表現や語句、文法構造を使い、簡潔に話している。 c: 日常生活、友人の紹介、自分の一日について、学習した文法知識を踏まえて簡潔な語句や文を用いて話そうとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 疑問形容詞、非人称構文、部分冠詞、数量表現、また補語人称代名詞等の知識を使い、日常生活を伝えるために必要な書く技能を身に付けている。 b: 上記のような文法表現を用いて、日常的な話題について書くことができる。 c: 上記のような文法表現を用いて、日常的な話題について簡潔に書こうとしている。	ライティング課題
	中間考査			
	12 課 13 課 14 課	聞くこと	a: 数字や具体的な名詞を聞き取ることができる。 b: 日常的な話題（自分と相手の生活）に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握している。 c: 日常的な話題（自分と相手の生活）に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握しようとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 意見や情報を区別して読むことができる。 b: 日常的な話題（自分や相手の生活）に関する仏文を読み、具体的な数字や名詞を捉え、話の展開や書き手の意図を把握している。 c: 日常的な話題（自分や相手の生活）に関する仏文を読み、具体的な数字や名詞を捉え、話の展開や書き手の意図を把握しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: コミュニケーションを円滑にする言動（うなずき・聞き返し等）の働きを少し理解している。 b: 日常的な話題（自分や相手の生活）に関して賛成か反対など自分の意見を伝えるやりとりができる。 c: 日常的な話題（自分や相手の生活）に関して賛成か反対など自分の意見を伝えようとしている。	スピーキング テスト

※令和４年度以降入学生用

		書くこと	a: 代名動詞構文や命令、また未来に関する使い方を理解している。 b: 日常的な話題（自分や相手の生活）について、理由を述べながら自分の意見を書くことができる。 c: 日常的な話題（自分や相手の生活）について、理由を述べながら自分の意見を書こうとしている。	小テストと定期考査 （ライティング）
	期末考査			
2 学期	15 課 16 課 17 課	聞くこと	a: 身近な話題からある程度発展させた会話や、本や映画で得た知識に関する話題を聞き、必要な情報を聞き取ることができる。 b: 身近な話題からある程度発展させた会話や、本や映画で得た知識に関する話題を聞き、話の要点を捉えることができる。 c: 身近な話題からある程度発展させた会話や、本や映画で得た知識に関する話題を聞き、ある程度発展させて理解しようとする意欲的な態度が見られる。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 文法（複合過去半過去、大過去、関係代名詞、指示代名詞）の構造や表現（対比、言い換え）の技法を理解し、情報を理解することができる。 b: 身近な話題からある程度発展させた会話や、本や映画で得た知識に関する話題について、 内容を的確に理解し、要点や概要を伝え合うことができる。 c: 身近な話題からある程度発展させた会話や、本や映画で得た知識に関する話題をについて自らの例と比べながら読み、内容を把握しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 身近な話題からある程度発展させた会話や、本や映画で得た知識に関する話題について、効果的な表現や語彙を使い、適切な文法を用いて話すことができる。 b: 自分の身近な話題からある程度発展させた会話や、本や映画で得た知識に関する話題について、やり取りを続けることができる。 c: 自らの考えや体験を伝えようとする積極的な態度や、相手の話すことも理解しようとする意欲的な態度が見られる。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 本文の内容から発展させて、自分の考えを適切に伝えるために学習した文法や語彙、表現を効果的に使うことができる。 b: 本文の内容から発展させて、実際の場面を想定して、自分の考えを伝えるために要点をわかりやすくまとめ伝えることができる。 c: 実際の場面を想定して、自分の考えを意欲的に伝えようとする態度が見られる。	ライティング課題
	中間考査			
	18 課 19 課 20 課	聞くこと	a: 身近な話題から必要な情報を聞き取ることができる。 b: 身近な話題について、話の要点をとらえることができる。 c: 身近な話題に関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握し、主体的積極的にコミュニケーションをとろうとしている。	小テスト （リスニング）
		読むこと	a: 文法（比較表現、受動態、現在分詞、ジェロンディフ、条件法）の意味と構造を理解し、本文を理解することができる。 b: 身近な話題に関する比較的長い仏文を読み、話の展開を把握することができる。 c: 身近な話題に関する比較的長い英文を読み、意欲的に内容を理解しようとしている。	定期考査 （リーディング）
		話すこと （発表）	a: 文法や語彙、表現を効果的に使い、仏語の音のつながりにも注意を払い、テーマについて自分の意見を簡潔にまとめることができる。 b: テーマについて自らの体験をもとに考え、賛成・反対意見を例に挙げて、まとめて話すことができる。 c: テーマについて自らの体験をもとに考え、賛成･反対意見を例に挙げて、意欲的に自分の意見を伝えようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: テーマについて自分の意見を伝えるために、効果的に学習した語彙、文法表現を使うことができる。 b: テーマについて自分の体験をもとに考え、効果的なデータや情報を用いて意見をまとめることができる。 c: テーマについて自分の体験をもとに考え、様々な情報を踏まえて意見をまとめて伝えようとする態度が見られる。	定期考査 （ライティング）
	期末考査			
3 学期	21 課	聞くこと	a: 様々なテーマに関する会話から必要な情報を聞き取ることができる。 b: 様々なテーマに関する会話から、要点や話し手の意図を把握することができ、自分の意見を適切に表現することができる。	小テスト （リスニング）

※令和４年度以降入学生用

			c: 様々なテーマに関する会話を聞き、話の展開や話し手の意図を把握し、主体的積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	
	全体復習	読むこと	a: 今まで学習した時制や文構造、この学期で学習する接続法の意味と構造を理解することができる。 b: 様々なテーマに関する文章を読み、概要を理解したり、要点を把握したりすることができる。 c: 様々なテーマに関する文章を読み、概要や要点を理解し、主体的に情報を整理して、活用しようとしている。	リーディングテスト
		話すこと （やり取り）	a: 仏語の音声やイントネーション、語彙、表現の理解を深め、適切な文法を活用して、話をすることができる。 b: 様々なテーマについて、情報を整理したり活用したりして、伝え合うことができる。 c: 様々なテーマについて、主体的、意欲的に伝えようとしている。	スピーキング テスト
		書くこと	a: 様々なテーマについて効果的に語彙、文法表現を使うことができる。 b: 様々なテーマについて、自分の考えを適切に伝えることができる。 c: 様々なテーマについて、自分の考えをまとめて伝えようとする態度が見られる。	ライティング課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度